

誠心 まごころ

第9号
2021年4月1日 発行

発行
医療法人社団 誠広会
平野総合病院



骨密度測定装置

最新の全身用X線骨密度測定装置を導入しました

当院では、早期の骨粗しょう症診断を目的として最新のDEXA全身用X線骨密度測定装置 PRODIGY FUGA-C(米国GE社製)を導入しました。

骨粗しょう症の診断と治療の為に、骨折リスクの高い腰椎(正面)と大腿骨(近位部)などの検査に対応した装置です。

「骨粗しょう症の治療と予防ガイドライン」でも腰椎および大腿骨(近位部)のDEXA法が推奨されています。

●骨密度の測定には、低エネルギーのX線を使います。X線被ばくは、胸部レントゲン撮影の6分の1程度と少ない被ばく量で精度の高い測定値が

得られます。

●測定時間は5~10分程度で患者さんに負担の少ない検査を提供します。

日本人で50歳以上の女性の3人に1人は、骨粗しょう症になると言われています。背が縮んだ、腰が曲がってきた、腰が痛い。最近そのような症状を感じる方は、もしかすると骨粗しょう症が原因かもしれません。

気軽に医師にご相談ください。早めの検査で骨の状態をしっかりと把握しましょう。

在宅推進センター 紹介



日本では急速に少子高齢化が進み、2025年には「団塊の世代」が全て75歳以上となり、超高齢化社会を迎えようとしています。

こうした中、医療ニーズについては、病気と共存しながら生活の質(QOL)の維持、向上を図っています。介護ニーズにおいても重度の要介護者や認知症高齢者が増加するなど、医療および介護の連携の必要性はこれまで以上に高まってきています。

このような情勢の変化に対し、地域の皆さんが安心して医療及び介護を受けられるようサポートする部署として、昨年12月、平野総合病院内に「在宅推進センター」が新たに設置されました。

当院は、地域に密着した病院として内科・外科を含む12診療科の他、法人内には、介護老人保健施設や訪問看護ステーションも有しています。居宅サービスを受けられている方や高齢者施設等で生活されている方が抱

えておられる病気などに対し、安心した診療や入院のご提案をさせて頂いています。

なお、自宅或いは施設等から来院される患者さんの不安や負担を、少しでも軽減できるよう相談の上、送迎等のお手伝いもさせて頂いています。

また、「病気や障がいがあっても住み慣れた家で過ごしたい。」そんな思いをお持ちの方や、そのご家族の希望に少しでも添えるように、「訪問診療」の提案や入院された患者さんの介護保険に係る相談も行っています。

そして、病院内にあります「地域連携室」や「在宅介護支援センター平野」および「訪問看護ステーションひらの」とも連携をとりながら、患者さんの視点に立って、地域の皆さんに安全・安心な医療の場を提供できるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

事務部 紹介



事務部は患者さんやご家族と直接お会いすることが少ない総務人事課、経理課のほか、患者さんとは身近な関係の医事課などがあります。

私たちは医師をはじめ看護師、技師など病院に勤務するスタッフがそれぞれの業務に専念できるよう様々な案件に対応し、働きやすい環境を整えるために日々努めています。

総務部門には庶務的な業務や対外的な窓口を担う総務担当を中心に、設備担当は建物のほかボイラーなど大きな設備をはじめ、車椅子など備品の修繕も行い、運輸担当では救急車両の運行、車両管理および交通安全の啓蒙活動を行っています。また、資材・物品を管理する用度担当、あらゆる電話に対応する電話交換、患者さんのための売店、建物内の衛生環境を担う清掃担当、病院で働く職員のお子さんを預かる託児所があります。他には情報関連として各種データの作成、管理を

行う情報処理室があります。

人事部門ではスタッフの採用や労務管理などを行い、経理部門は病院の金庫番として資金管理を行っています。

医事課には外来患者さんの受付業務を主体とした外来医事、入院(病棟)患者さんの業務を行う病棟医事のほか、カルテを管理する診療情報管理室があります。

この一年は新型コロナウイルス感染症により厳しい環境が続いています。こうした中において、地域に貢献する病院のスタッフの一員であるという自覚を持ち、日々変わる環境の変化に合わせて私たちも対応していきます。また、これまで以上に他部署と協力し連携することで、今後も平野総合病院が患者さんに親しまれ、信頼される病院となるよう貢献していきます。